

# 「メタボ肝炎」発症

## マクロファージ関与

富山県立大工学部医薬品  
工学科の長井良憲教授、大  
学院博士課程の多田有希さ

らかにした。今後、新たな  
治療法の開発が期待され  
る。

んらの研究グループは、メ  
タボリック症候群に伴う脂  
肪性肝炎の発症や、肝臓が  
硬くなる「繊維化」の進行  
に、免疫細胞「マクロファ  
ージ」が関わる仕組みを明

研究グループは、人間の  
脂肪性肝炎に似た症状を持  
ったマウスを使って実験。  
高脂肪の餌を与えて肝炎を  
発症させると、肝臓にマク  
ロファージが多数集まって

いることが分かった。死ん  
だ肝細胞や脂肪を処理する  
ために集まったマクロファ  
ージが炎症を引き起こして  
いると考えられる。

研究は県立大の古澤之裕  
准教授や河西文武講師、県  
薬事総合研究開発センタ  
ー、徳島大などと合同で行  
われ、成果は10月31日、ス  
イス科学誌「インターナシ  
ヨナル・ジャーナル・オブ  
・モレキュラー・サイエン  
ス」にオンライン掲載され  
た。

富山新聞 :朝刊

掲載日:2022/11/04 面名:TPX ページ:015